

第40回 虫歯の治療後に出る痛み

虫歯を治療したのに、後でズキズキと痛み出した。この様な経験がある方は少なくないと思います。

今回は虫歯の治療後の痛みについてです。治療後に歯が痛くなる原因として考えられる、主なものをあげてみました。

① 一時的な反応

歯の内部にある象牙質部分の虫歯を取り除くと一時的に神経が反応して痛むことがあります。

② 歯髄（歯の神経）が炎症を起こしていた

治療した歯の虫歯が深く歯髄のすぐ近くまで達していた場合、既に虫歯の細菌が歯髄に入り込んで炎症を起こしていることがあります。この場合、治療後の痛みもだんだん酷くなりやすく、歯髄を取り除くこともあります。

③ 詰め物が歯髄を圧迫する

虫歯の除去中に歯髄が一部露出して、その部分を詰め物が圧迫している場合でも痛みが出る場合があります。

④ 虫歯の取り残しがある

深い虫歯では、稀に虫歯の取り残しが生じることがあります。それが原因で痛みが出ることもあります。

虫歯の治療後に2、3日痛むことは時々あります。しかし、その痛みが1、2週間も続

く場合、注意が必要です。痛みが徐々に弱くなっていく場合は、そのまま様子を見ても良いでしょう。しかし痛みが同じ様な強さで1週間以上続く場合や、だんだん酷くなる場合は歯髄が炎症を起こしている可能性があります。歯髄を取り除く必要性も出てきます。実際に歯髄を取るかどうかは、症状の経過を見ながら決めることとなります。

深い虫歯をできるだけ歯髄を残そうと治療すれば、術後に痛みが出る可能性も高く、その分歯髄を取り除く率も高まります。歯髄を取り除くと、（歯髄が）ある歯に比べ歯の寿命が短くなるというデータがあります。定期検診を活用し、深い虫歯になる前に早期発見早期治療ならびに虫歯予防に努めましょう。



深い虫歯ほど、治療後の痛みが出やすくなります。